

平成17年10月31日

平和不動産株式会社

### 平成17年9月期 中間決算のポイント

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

- (1) **ビル賃貸事業：収益増加、新築ビルの通期稼働が寄与**  
中間期営業収益は82億90百万円(前年同期比11億82百万円増、16.6%増)  
大阪証券取引所ビルの満室稼働(平成16年12月竣工)  
ホテル東横イン日本橋人形町の稼働(平成16年12月竣工)
- (2) **住宅事業：順調、賃貸マンション事業の拡充へ**  
中間期営業収益は15億50百万円(前年同期比13億69百万円増、753.9%増)  
分譲マンション：「ラヴィラ府中多摩川」(36戸)他14億66百万円の売上  
賃貸マンション(「アンテナ」シリーズ)：「アンテナ三田」、「アンテナ目白」(建築中)
- (3) **証券化関連事業：新たな収益部門として確立へ**  
クレッシェンド投資法人：9月末資産総額518億円(平成17年3月上場時321億円)  
「平和セレクトファンド」の創設(4月)：期間5年、投資総額300億円(9月末50億円)、  
投資対象：商業施設、オフィスビル、レジデンス等

### 平成18年3月期 業績見通しのポイント

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

- (1) **営業収益：過去最高の360億円(前期比147億円増、69%増)**  
ビル賃貸事業：162億19百万円(前期比16億39百万円増、11.2%増)  
住宅事業：168億51百万円(前期比122億38百万円増、265.3%増)  
大型マンション2物件の販売が下期に集中：  
東京フロントコート(豊洲)(194戸)、ファイブスター(新砂)(134戸)  
証券化関連事業：16億74百万円(前期比8億74百万円増、109.2%増)
- (2) **経常利益：過去最高の66億7百万円(前期比17億53百万円増、36.1%増)**  
営業利益：77億61百万円(前期比14億12百万円増、22.2%増)  
当期純利益：36億4百万円(前期比5億97百万円増、19.9%増)
- (3) **新たな収益の拡充へ：収益物件への投資(平成18年度以降本格的に収益へ寄与)**  
札幌オフィスビル：札幌市中央区、「パークイースト札幌」地上8階 延床面積3,261坪  
名古屋栄オフィスビル：名古屋市中区、「新河文伊勢町ビル」地上8階 延床面積949坪  
名古屋栄土地：(ビル開発用地) 名古屋市中区、243坪  
大阪北浜土地：(ホテル事業用地) 大阪市中区(三越跡地の一部)、494坪

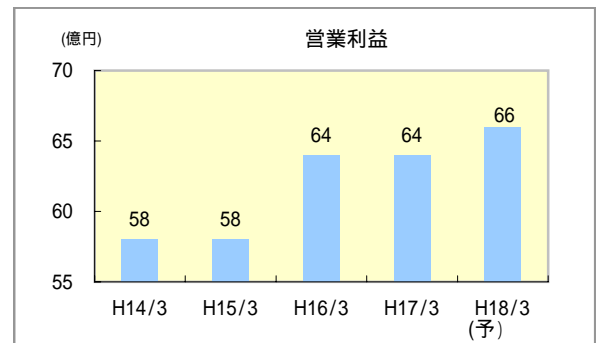
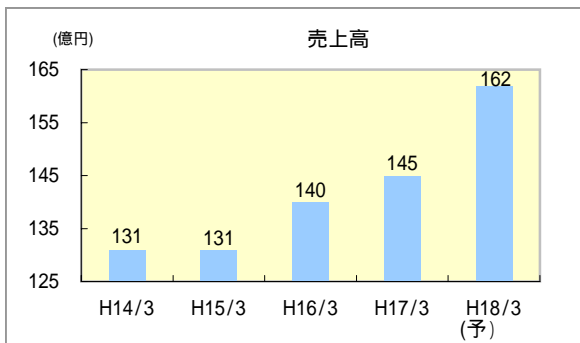
以 上

(1) 今期 < 18年3月期 > の業績見通し

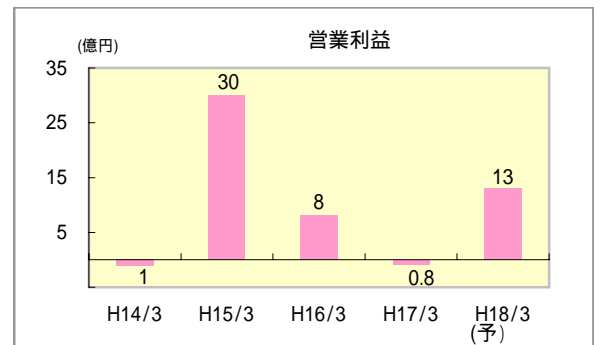
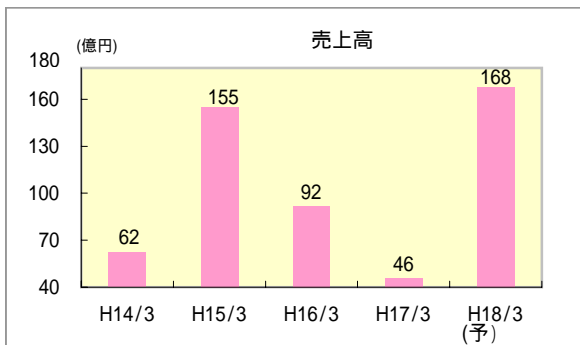
	17年9月期実績			18年3月期見通し		
	17年9月期	16年9月期	増減	18年3月期	17年3月期	増減
売上高 (百万円)	10,695	8,060	2,634(32.7%)	36,076	21,352	14,724(69.0%)
営業利益 (百万円)	3,667	2,981	686(23.0%)	7,761	6,348	1,412(22.2%)
経常利益 (百万円)	3,121	2,164	956(44.2%)	6,607	4,853	1,753(36.1%)
当期純利益 (百万円)	1,550	1,252	298(23.8%)	3,604	3,006	597(19.9%)
1株当たり純利益 (円)	13.9	11.2	2.7	31.9	26.4	5.5
1株当たり配当金 (円)	中間 4.5円	中間 3.5円		1年間 9円	2年間 9円	

1 普通配当であります。  
2 記念配当1円50銭を含みます。

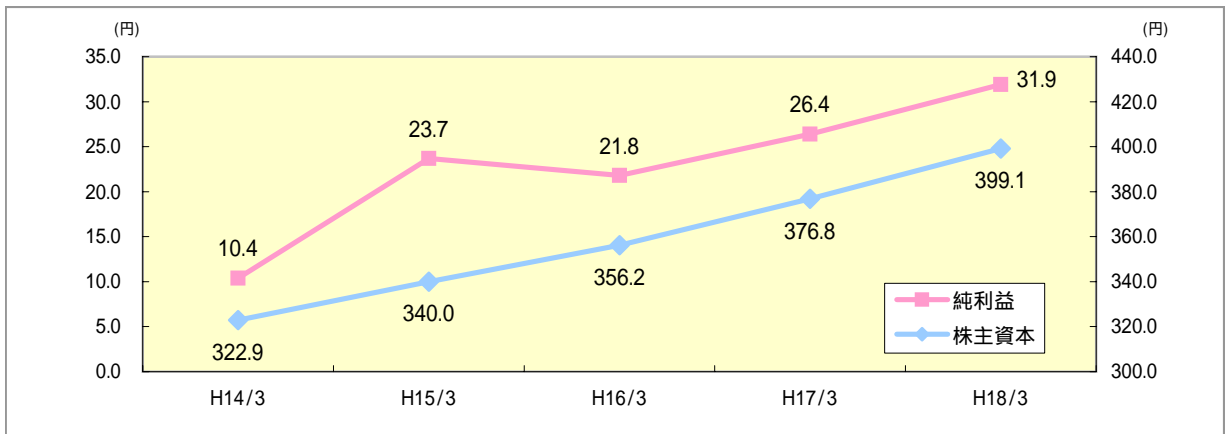
(2) ビル賃貸事業部門: 売上高・営業利益の推移



(3) 住宅事業部門: 売上高・営業利益の推移



(参考) 1株当たり純利益・1株当たり株主資本の推移



(注) 1株当たり純利益および1株当たり株主資本は、潜在株式調整前の数値をもとに算出しております。

(注) 業績予想につきましては現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。